



TITLE:

表紙・編集後記・目次・裏表紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・編集後記・目次・裏表紙ほか. 物性研究 2012, 97(6): 1313-1313

ISSUE DATE:

2012-03-05

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/172059>

RIGHT:

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可
平成24年3月5日発行(毎月1回5日発行)
物 性 研 究 第97巻 第6号

ISSN 0525-2997

vol.97 no.6

物性研究

2012 / 3

1. 本誌は、主として物性分野の研究者がその研究・意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見などです。
2. 本誌に投稿された論文については、原則として審査は行いません。但し、編集委員会で本誌への掲載が不相当と判断された場合には、改訂を求めること、または掲載をお断りすることがあります。
3. 「物性研究」に掲載される論文の著作権は、物性研究刊行会に帰属することとします。但し、著者が著作物を使用することをさまたげるものではありません。
4. 本誌の論文を欧文の論文で引用する時には、Bussei Kenkyu **94** (2010), 1. のように引用して下さい。

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学 湯川記念館内
物性研究刊行会

電話 (075)722-3540, 753-7051

FAX (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

編集後記

地震・津波により東北・関東で甚大な被害をもたらした、マグニチュード 9.0 の巨大地震が発生したのが、ほぼ 1 年前の 3 月 11 日である。「忘れっぽい」と称される日本人でも、今回の地震とその後のことはまだ生々しい現在のこととして認識されている。特に、福島原子力発電所事故では、東北はもとより、日本、そして近隣海域にまで放射能をまき散らす結果となった。原子炉は冷温停止とはされているもののとても安心できる状況ではなく、綱渡り状態は事故当初から変わっていない。

今回の原発事故では原子力のリスクが計り知れないほど大きいということを目の当たりにした。国土の多くを山地が占め、限られた平地にしか住めない我が国において、先人が努力して開いてきた土地を放射能汚染により放棄・喪失していいはずがない。核実験・事故で人が住めなくなった土地ができて、そこを捨て去ればいいだけの広大な土地を有する「大国」とは、同じ感覚を我々は未来永劫共有することはできない。原子力安全技術のもろさも今回露呈された。冷却能力喪失後の対応はまさに試行錯誤・応急処置の連続で、何か対応を間違えていたら、または東電が福島第一原発から全面撤退して何も対応をしなかったら、史上最悪の危機的状況になっていたわけである。一方、多くの原子力発電所がストップしても電力供給は危機的状況にはならなかった。

このような状況である今なら、我々が何をしなければいけないかは明らかであろう。ただ、「忘れっぽい」日本人が、この問題を先送りしてしまわないか、これは大いに不安である。

「物性研究」についての問題は先送りされず、本号を最後に、冊子体での出版が終了し、電子版のみとなって生まれ変わる。これまでの「物性研究」の運営に尽力されてきた先人の努力に感謝するとともに、今後の「物性研究・電子版」での活発な議論に期待したい。

(加齢臭)

[物性研究]

編集長

村瀬 雅俊 (京大・基研)

編集委員

荒木 武昭 (京大・理・物理)
高橋 義朗 (京大・理・物理)
武末 真二 (京大・理・物理)
松本 剛 (京大・理・物理)
吉村 一良 (京大・理・化学)
遠山 貴己 (京大・基研)
戸塚 圭介 (京大・基研)
早川 尚男 (京大・基研)
森成 隆夫 (京大・基研)
和田 浩史 (京大・基研)

各地編集委員

泉田 渉 (東北大・理・物理)
川口 由紀 (東大・理・物理)
波多野 恭弘 (東大・地震研)
笹本 智弘 (千葉大・理・数学・情報数理)
柳瀬 陽一 (新潟大・理・物理)
樋口 雅彦 (信州大・理・物理)
小西 哲郎 (名大・理・物理)
湯川 諭 (阪大・理・宇宙地球)
柳田 達雄 (大阪電気大・工)
狐崎 創 (奈良女大・理・物理)
水島 健 (岡大・理・物理)
粟津 暁紀 (広大・理・数理分子生命)
坂口 英継 (九大・総理工・量子プロセス)
関本 謙 (Paris 第7大学・物理)
大木谷 耕司 (Sheffield 大学・応用数学)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

物 性 研 究 第 97 卷第 6 号 (平成 24 年 3 月号) 2012 年 3 月 5 日発行

発行人 村 瀬 雅 俊

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

印刷所 中西印刷株式会社

〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入ル

発行所 物性研究刊行会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

年額 19,200 円

物 性 研 究 97-6 (3月号) 目 次

○特 集

「物性研究」と私の思い出 1183

○カオスについての個人的な体験 島田 一平 1213

○パターン形成の物理 甲斐 昌一 1243

○フクシマ原発震災について考える

— 核エネルギーの安全な利用はありえない —

..... 山田 耕作、大和田 幸嗣、渡辺 悦司 1273

○編集部より

「物性研究」終刊にあたって 1312

○編集後記 1313

○目 録 (Vol. 96, 97) 1315